

正解のない世界と正解を求める 現代教育の狭間に挑む

研究キーワード



- 文理融合による統合的研究：創造性とはなにか？ノーベル賞の発想に学ぶ「出来ないことこそ創造の原点」
- 芸術と心理学の統合的研究：描くこと、一人ではないことへの気づきによる「心と身体と運動の統合に向けて」
- 未来創成学の展望と創造性：他者との競争から、自他一如の「共創」による輝かしい未来創造の展望

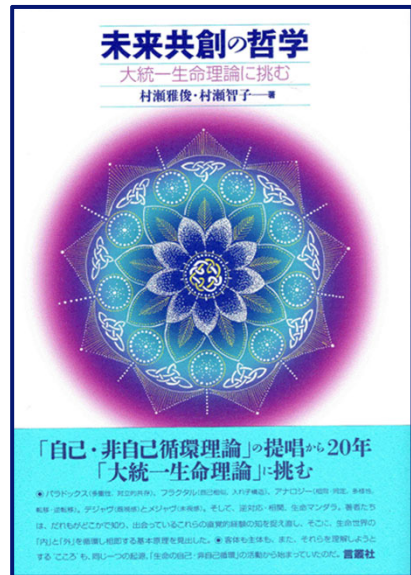
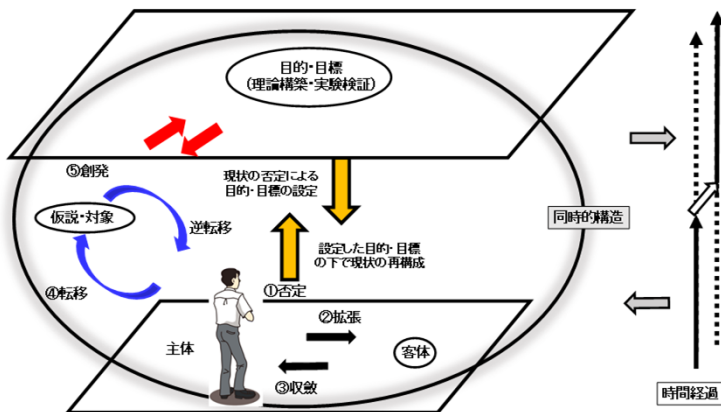
連携アピール



- すべての鍵は、自分自身の「ものの見方」にあります。「ものの見方」を変えると、それまで「目に見えなかった世界」が色鮮やかに輝きはじめ、語りかけはじめてくれます！
- 私たちは、「遊び」と「学び」を分けて考えがちですが、「遊び」と「学び」のどちらも享受することで、「共創と調和の循環」を実践することになります。もちろん、みなさんにも、そのような機会を創り出すパワーがあるのです。

本研究の概要

- 本研究の課題：「如何にして、正解のない世界と正解を求める現代教育の狭間に挑むか」、すなわち、「どうすれば、二項対立を乗り越え続けることができるか」。これが、本研究の課題です。重要な観点は、二項対立を乗り越え続けるには矛盾の活用が不可欠であるということです。失敗によって学ぶこと、真剣な遊びを通して物事の本質を学ぶこと、病いを体験して、健康に目覚めること。
- すべての体験において、創造性が求められます。



研究者

村瀬 雅俊 (むらせ まさとし)
教育学部教育学科 教授

